

2019年度派遣（2月13日～3月9日・3週間）

オーストラリア ボンド大学 / 環境学部1年 末岡結衣

私がこのプログラムに参加しようと思った理由と目標が3つありました。1つ目は英語に関する学力の向上、2つ目はオーストラリアの自然環境や動物保護、特有の生物について学ぶこと、3つ目はコミュニケーション能力の向上や自信を得ることでした。

3週間の英語の授業は自分のレベルに合った内容で構成されていたので、苦手な範囲を丁寧に復習することができ、ホストファミリーとの会話でも実際に活用できました。また、私のホストファミリーは母親、父親、11歳の娘と5歳の息子の4人家族だったため、彼らの日常的な会話を聞くことでネイティブな表現を学ぶことができました。飲食店で注文することにも慣れ、来たばかりの頃と比べたら随分とスムーズにやりとりできるようになりました。何事も何度も繰り返すことが大切だと分かりました。

このプログラムでは、スプリングブルック国立公園とカランビン野鳥園を訪ね、オーストラリアの自然や動物についてガイドから話しを聞くことができました。その他にもボンド大学でオーストラリアの文化や現在起こっている問題について学べるのが魅力でした。スプリングブルック国立公園では約1億年前の姿で今なお存在しているレインフォレストを実際に見て歩き、ガイドからユーカリの森が引き起こす山火事の仕組みやマングローブの生態について教わりました。カランビンでは、怪我をした野生動物の治療や保護を行っている施設を見学し、どのように保全活動を行っているのか、またオーストラリア固有の動物達について学びました。

これまでの人生でやったことがないような事に挑戦し、日本ではできない経験や知識を得ることで今後の進路選択に役立て、自信を持つことが今回の留学に参加したいと思った理由のひとつでした。この研修を通して、自身の英語のスキルアップをすることができ、オーストラリアの文化や自然、動物について学ぶことができたことは確実に私の自信となり、今後の学習に対するモチベーションになると思います。このプログラムを通して得た経験を忘れず、今後の学生生活に広い視野と新しい知識を取り入れる姿勢をもって物事に向き合っていきたいです。そして更なる英語のスキルアップを目指していきたいです。

